

平成26年11月13日  
山梨県消防学校

## 消防団員幹部教育現場指揮課程を実施しました

今般、消防団員幹部教育現場指揮課程（消防団幹部向け研修会）を実施しました。平成26年11月1日、11月9日に実施した教育訓練は、関係各位の御指導・御協力により無事終了しました。

なお、6月に実施した分団指揮課程と共に今課程を修了した団員5名に消防団員指揮幹部科の修了証とき章を交付しました。

また、今課程の授業風景が、11月2日の山梨日日新聞に掲載されました。

### 1 期間

平成26年11月1日（土）

平成26年11月9日（日）（計14時間）

### 2 場所

中央市今福 山梨県消防学校

### 3 内容

- （1）講話・現場指揮・安全管理（座学）
- （2）避難誘導・水災活動訓練（座学）
- （3）地域防災指導（住民指導・消防訓練）訓練（座学）
- （4）救助・救命訓練（実技）
- （5）火災防ぎょ訓練（座学・実技）

### 4 修了者

県下市町村消防団員 45名



き章



# 消防団 救助技術磨く

## 地域防災力強化へ実践

大規模災害に備え県内で訓練



チェーンソーで木材を切断する参加者  
＝中央・県消防学校

山梨県内の市町村消防団幹部を対象とした大規模災害時の救助訓練が1日、中央市の県消防学校で行われた。多くの消防団員が救助活動に当たった東日本大震災などを踏まえ、消防団員も十分な救助技術を身に付ける必要があるとし、毎年の訓練を実践的な内容に変更。参加者はチェーンソーや割岩機を使い、コンクリートや木材を切断する方法を学び、あらためて「備え」の大切さを実感する声が上がった。

訓練は同校が毎年実施して「団の運営・管理」に関する講義が中心だったが、昨年12月に同校によると、これまで消防「消防団を中核とした地域防

災力の充実強化に関する法「律」が施行されたことも念頭に、自然災害を想定した実践的な内容を取り入れた。

この日は県内9市町村消防団から分団長や部長など第1人が参加。同校職員や専門業者がチェーンソーやエンジンカッター、手動の割岩機の使い方を指導した。

エンジンカッターを初めて使ったという昭和町消防団分団長の堀沢政博さん(42)は「実際に使ってみると、機材の重さや火花の散り方が分かり、いい経験になった」と話した。

同校によると、市町村消防団では「数年、大規模災害

の救助に対応できる機材を備えた車両の導入が進んでいるものの、使用できる団員は限られるのが実情だという。同校の担当者は「東日本大震災以降、地域の消防団の重要性は増している。有事の際には率先して訓練の内容を生かしてもらいたい」と話した。